

# “ やっちゃん ” 鳴高！ ～保護者の皆さまへ校長メッセージ～

鳴尾高等学校

笑顔

夢

プロジェクト

9月号

＜質問コーナー＞

## 「継承」追求し連帯を広げる

今回のテーマは2025年(令和7年)8月6日付朝日新聞(朝刊)社説の見出しです。

【鳴高トピックス】 ※詳しくは鳴高HPで  
back number

☑ オーストラリア海外研修  
(R7.8.1金～10日)

ホームステイやウイルソントン校ではバディと各授業に参加。特に農学では高校の敷地内で育てている牛や羊に触れ、養蜂体験、オーストラリアのお菓子のテイasting、日本語を学んでいる生徒との交流と盛り沢山な経験をした24名。2学期始業式でどんな体験談が聞けるのか楽しみです♪

☑ オックスブリッジ英語サマーキャンプ (R7.8.4月～8.8金)

のべ20名の鳴高生が、イギリス、ケンブリッジ大学1回生のJuliaさんと5日間、ゲームやディスカッションなど日本に居ながらにして英語漬けになれる体験に参加しました

☑ 学科・類型座談会 (R7.8.23土)  
午前・午後、それぞれに沢山の中学生とその保護者の皆さまが参加くださいました。

Future

☑ 始業式 (R7.9.1月)

☑ 鳴高音楽祭 (R7.9.14日)

☑ ビブリオバトル  
(R7.9.18木、19金)

2025年(令和7年)は戦後80年の節目となる年です。『被爆80年と市民社会』をテーマに書かれた社説のなかで、『継承』について、「単に受け継ぐのではなく、記憶が自分の中に生き続けて、わたしごとになる。」と表現しています。また、「被爆の実相を知り、平和の大切さを思うだけでは、継承とは言えない。行動し、被爆者の思いに応えようとするのが継承ではないか。」とも述べられています。

その社説を読んだときに、真っ先に浮かんだのは、鳴高放送部がNHK杯放送コンテスト全国大会、テレビドキュメント部門で入選を果たした「継(つぐ)」でした。

80年前の8月6日。広島に原爆が落とされるその数時間前、西宮市は激しい空襲に襲われ、多くの命が失われました。その悲劇をテーマにドキュメンタリーとして制作したこの作品は、全国大会後の7月27日(日)「西宮親子劇場 平和学習講座」で上映され、8月6日(水)には、市民団体「鳴尾村誌を読み 戦争を語り継ぐ会」が主催した集会でも上映されました。その様子は、2025年(令和7年)8月7日付け朝日新聞に『西宮空襲「継ぐ」高校生の決意』の見出しで掲載していただきました。記事には、代表の2年山口さんを中心に部員6人で取り組んできた過程が詳細に記されています。「継(つぐ)」制作のきっかけになったのが、2024年(令和6年)12月2日付朝日新聞に掲載された「残したい『あの橋』が語る空襲」です。

さらに、神戸新聞では、2025年(令和7年)8月2日～16日の間、計6回にわたり「継ぐ 鳴尾高放送部と戦後の橋」の見出しで掲載していただきました。

朝日新聞、神戸新聞に掲載された記事や「継(つぐ)」の映像を校長室で見いただけます。学校にお越しの機会がありましたらどうぞ校長室にお立ち寄りください。



【Q】8/7付兵庫県知事のXで、エアコン設置方針とエアコン電気代予算の大幅増額について投稿がありました。鳴高ではどうなっていますか？

【A】知事の投稿の【参考】特別教室の空調整備状況に「整備済みまたは整備中」とある音楽室、書道室、美術室、調理室について、本校では全て整備済みです。「未整備」とある化学教室、物理教室、生物教室、地学教室、社会科教室は“知事の一声”で整備される日も近いのではと期待しています。また、『保護者や生徒からは、「電気代予算不足で先生がエアコンを切る」という声を未だに伺います。直ちにあらため、生徒達の健康と学習環境を最優先に対応すべきです。』とありましたが、本校ではお子様の健康と学習環境を最優先に、集中管理の教室については、事務室の職員が時間割を片手につきっきりで操作しています。ただ、毎年エアコンの電気代が増額傾向で、その負担を本来学校で必要となるものの購入を削って対応しているのが現状です。そのため夏季休業中の補習や個別面談において、PTAからエアコン電気代の補助をいただいておりますこと、この場を借りてお礼申し上げます。ちなみに、知事からの投稿にはなかった体育館については、鳴高は西宮市指定の避難所となっているため、今年度中にエアコンが設置される予定です。ただし、相当の電気代が掛かることが予想されるため、エアコンを稼働するタイミングについてはこれから検討して決めて参ります。